

1 題材 「ぬって！使って！楽しい生活」

2 指導観

- 日本では昔から、家庭の中に衣服を作るために布を裁つ・縫う作業が位置付いており、ほころびを繕って大切に使うことが日常的に行われていた。今の社会には既製品があふれ、学校で使うぞうきんでさえ購入する家庭もあり、家庭で衣服を製作することはほとんどなくなってきている。しかし、布製品をよりよく使っていくためには、ほころびを自分で繕ったり、家庭にある物を再利用して生活に必要な布製品を自分で作ったりしながら物を大切に長く使う工夫がいる。そのためにも、縫製に関する技能を身に付け、家庭生活の中で使っていくことはこれからも必要なことだと思われる。このことから、身近な布製品に関心を持ち、自分で製作する楽しさや喜びを感じさせることが必要と考える。

本題材では、安全で正しいミシン縫いの技能を学習し、学習した技能を生かして調理実習などで使用するエプロンの製作を行う。このことを通して、自分で作る楽しさや作ったものを生活に役立てる喜びを味わっていくことをねらう。そのことで、エプロンへの愛着がわき、長く使っていこうとする気持ちを持つことができるであろう。学習内容としては、毎日の生活の中で役立っている身近な布製品に気づき、自分が作りたいエプロンのイメージを持たせる。そして、ミシンの安全な扱い方や正しいミシン縫い方、ミシンの直線縫いを練習し、それを生かし目的にあった縫い方などを考え、エプロンの製作を行い、実際に家庭で使い心地を試してみる。このような学習を通して、製作に必要な技能を習得し、自分で作ることの楽しさや喜びを感じさせることは、意義深いと考える。

- 児童は、これまでに1学期の学習で、裁縫用具の使い方を知り玉結び・玉どめ・ボタン付けなどの技能を学習し、手縫いで簡単な小物を作り、製作の喜びを味わった。事前に衣生活に関する事前調査を行ったところ、「裁縫が好き」な児童が70%で、「授業以外でさいほうをしている」児童は、42%であった。また、「調理や製作など生活に必要な力を付けるために家庭科の学習は大切だと思いますか。」という質問に対し、87%児童が役立つと答えており、家庭科の学習は大切だと考えていることが分かる。しかし、「家庭科の学習で自分で考えたり工夫したりすることは好きですか。」は62%「家庭科の学習で興味を持ったことについてもっと調べてみたいですか。」は52%であり、家庭科の学習は大切だと感じてはいるものの、自分で考え工夫することや自分から進んで調べることは十分にできていない。そこで、エプロン作りをしていく中で、自分の思いを大切にしたい作品を作るために目的にあった縫い方や適した布を調べたり、自分なりの工夫をしていくことが必要だと考える。
- 指導にあたっては、習得した技能を使い、主体的に製作する楽しさや思い通りの作品を完成させるために考えたり、自分だけの工夫することのよさを感じさせたい。そのでまず、私たちの身の回りには、たくさんの布製品があることを知り、これから調理実習などに使っていくエプロンの役割などに目を向け、エプロンの価値に気付かせる。次に、エプロン製作のおおよその手順を知り、製作の見通しを持たせる。製作に必要なミシン縫いの仕方など製作に必要な基本的な技能を学習する。ここでは、ペア学習を行い、お互いに協力しながら取り組ませていく。その際、使い方ビデオや手順カードを用意し自分たちで確認しながら進めていけるようにする。また練習カードを用意し、自分の基礎的な製作技能を把握し自己評価したりペアで評価ができるようにしておく。そして、ミシンの使い方を覚えた後は、簡単な小物をミシン縫いで製作する。さらに、学習で習得した基礎的な技能を生かし、エプロンの製作計画、製作実習を行う。計画の場面では、自分の課題を解決するために目的にあった材料や縫い方を考える。製作の場面では、見通しがもてる学習プリントやミシン練習の時に使ったビデオや手順カードを使用し自分の力で製作できるようにしたい。

3 目標

- 布を用いて生活に役立つものを製作することに関心を持ち、製作に必要な材料や用具などを準備したり製作計画を立てようとしている。
- ミシンの直線縫いを生かして、丈夫に縫う部分やほころびにくい縫い方など目的にあった縫い方を自分で考えることができる。
- エプロンの製作計画を立て、裁縫用具やミシンを安全に使うことができる。
- 裁縫用具やミシンの安全な取り扱い方、および製作に必要な材料や手順、方法を理解する。

4 計画（全14時間）

関：関心・意欲・態度 創：創意・工夫 技：生活の技能 知：知識・理解

段階	配時	学習活動・内容	手だてと研究に関する手だて	具体的評価規準〈評価方法〉
気 付 く	1	1 調理実習で使うエプロンを作るために、エプロンの役割について考え、エプロンを製作する価値について話し合う。 (1) エプロンの役割について話し合う。 (2) エプロン製作で自分に必要なことを話し合う。 ・布選び ・製作手順 ・縫い方	○ エプロンの製作に必要なことを知るために エプロン見本 を準備する。	関：エプロンの役割や製作するために必要なことを考え、エプロンを作ろうとする意欲を持たせる。 〈発言チェック・学習プリントチェック〉
見 通 す	5	2 自分の課題をつかみこれからの製作活動に見通しをもつ。 (1) 布の特徴を調べる。 ・布の厚さ ・伸縮性 (2) エプロン製作の手順を知り、課題を見つける。 ・丈夫さ ・成長を考えた大きさ ・ひも通しの部分 3 製作に必要なミシンの使い方を知る。 (1) ミシンの使い方を知る ・ミシンの仕組み ・針の付け方 ・糸のかけ方 ・糸の始末の仕方 ・直線縫い (2) ミシンを用いて簡単な小物を製作する。	○ 布の特徴について調べるためにフェルト、織物などいろいろな布を準備する。 ○ 紙エプロンを使って自分の課題を見つける。 ○ エプロンの 製作計画書 をかき、自分の作りたいエプロンのイメージを持たせる。 ○ ミシンの使い方が視覚的に分かるように 手順カード・使い方ビデオ を用意する。 ○ ミシンの使い方を 三つ星カード で自己評価する。 ○ 縫い目の大きさが変わることを知るために から縫いシート を準備する。 ○ 糸の始末布端の始末の仕方を知るために、 提示資料 を用意する。	知：布の性質を調べ、布の特徴について分かる。〈学習プリント分析〉 創：エプロン製作の手順が分かり、視点をもとに自分の課題を決めることができる。〈学習プリント分析〉 知：ミシンの安全な使い方や上糸のかけ方、糸の始末の仕方などを理解している。〈活動チェック〉 技：ミシンを安全に取り扱い、直線縫いができる。〈作品分析・三つ星カードチェック〉 知：ミシンの直線縫いを使って簡単な小物を作り、三つ折りの相方が分かる。〈活動チェック〉
さ ぐ る 本 時 ・ ま と め る	8	4 課題解決のための製作計画と製作実習をする。 (1) 「エプロンづくり」の計画を立てる。 ・布の種類 ・丈夫な縫い方 ・縫い目の大きさ (2) ポケットを工夫する。 (3) 製作計画に沿って、製作をする。	○ エプロンにふさわしい布や丈夫な縫い方を考えるための 見本 を準備する。 ○ 作り方が分かるように 段階見本 を準備する。	創：ミシンを使って目的にあった縫い方などを考えて製作計画を立てることができる。〈製作計画書チェック〉 創：ポケットの大きさや位置などを工夫している。〈製作計画書チェック〉 技：ミシンを用いた直線縫いで、エプロンを製作することができる。〈作品分析〉
生 か す 課 外	5	5 製作したエプロンを家庭で使い、製作をふりかえる。 ・自分の作ったエプロンを使って試してみる。	○ 実際に使ってみた感想を書く 実践カード を用意し、教室に掲示する。	関：製作したエプロンを、家庭での仕事に進んで使おうとしている。〈実践カードチェック〉

(1) 本時の指導観

前時までには児童はミシンの使い方を学習し、直線縫いや返し縫いなどを練習している。

そこで、本時では、前時までには学習したミシンの基礎的な技能を生かし、ひも通しの部分やポケットのあきぐちの丈夫な縫い方・エプロンにあった縫い目の大きさや目的にあった材料などを考えさせ、製作計画を立てる場を設定する。

そのためにまず、あらかじめ製作における課題やエプロンのイメージ図を書いた学習プリントを確かめ、本時のめあてを確認する。次に、目的にあった縫い方や材料を考えるために設けた「丈夫な縫い方」「縫い目の大きさ」「布の種類」などのコーナーにおかれた見本を視点を持って調べていき、適切な物を選ばせていくようにする。その際に、カードを用意し、自分で選んだ方法や理由を書き込んでいけるようにしておく。さらに、選択した意図を明確にするためにグループで話し合いをさせる。最後に、選択した意図が明確な児童をクラス全体で発表させ、製作計画の見直しをさせイメージ図に書き込ませる。ここでは、児童の結果を黒板に板書することで、製作計画の見直しの手助けになるようにしたい。

(2) 主眼

○ ミシンの直線縫いや縫い目の大きさなど学習した基礎的な技能を活用して、目的にあった縫い方や材料を選択し、製作計画を立てる。

(3) 準備

- ①エプロンの実物見本 ②縫い目の大きさをかえた布 ③丈夫にする縫い方見本
- ④厚さや材質の異なる布のサンプル ⑥学習プリント

(4) 過程

学 習 活 動 ・ 内 容	資料・教具	手 だ て	形態	配時(分)
1 前時のふり返しを行い、めあての確認を行う。 自分のエプロンにあった材料や縫い方を調べ製作計画を立てよう。	⑥	○ 前時までには書いておいたエプロン図を準備しておく。	全体	5分
2 自分の課題を確認 (1)コーナーをまわって縫い方や材料を確かめる。 ・丈夫な縫い方コーナー ・いろいろ布コーナー ・ぬい目の大きさコーナー	① ② ③ ④ ⑤ ⑥	○ 自分の課題にあったエプロン製作ができるように3つのコーナーを用意し、それぞれ見本を準備しておく。 ○ 見本の中から、ふさわしい物を選択するための視点を与える。 ・ミシンで縫いやすいか ・丈夫そうか ・時間内でできそうか ・見た目はどうか	個 班	20分 10分
(2)確かめたことをグループで交流する。 ・選択する意図を明確にして話す。	⑥			
3 クラスで発表し、本時のまとめをする。 ・今日調べたことで、実際に製作ができそうか見直しをさせる。	⑥	○ 結果を整理して黒板に板書し、自分の製作計画の見直しに役に立つようする。	全体 個	10分